

Fiery FS200 Pro & Fiery FS200

新機能に関する製品ガイド



本書は、Fiery®プリントサーバーの代表的な機能について。一部の機能はプロジェクトの導入環境や地域の条件によってサポートされない可能性があるため、実際に搭載される機能はFieryのモデルによって異なります。特定のFieryモデルの機能については、各モデルの機能表を参照するか、Fieryベンダーにお問い合わせください。本書に記載する内容は、EFI製品とサービスに付属する保証書を補足または追加する保証として解釈されるものではありません。

最終更新日時：
2015年7月10日

目次

はじめに	5
新機能	5
生産性	6
HyperRIP の強化	6
コンポジットオーバープリントの自動検出	9
オフライン仕上げサポートの向上	9
用紙混合時の印刷範囲のサポート	11
Fiery JobFlow Base	11
印刷済みキューの最大ジョブ数の増加	12
カラー	13
階調スムージングの強化	13
PANTONE PLUS ライブラリの更新	13
Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition、および Fiery Productivity Package の強化	13
操作性	17
Fiery Command WorkStation v5.7	17
「用紙に合わせて縮小」の向上	18
Fiery Impose の改良点	18
Fiery JobMaster の改良点	20
言語サポートの拡大	22
統合	23
Fiery JDF v1.4	23
Fiery API	24
Windows 8.1 オペレーティングシステム (Fiery 外部サーバー)	24
Debian 7 オペレーティングシステム (Fiery 組み込みサーバー)	24

はじめに

Fiery® FS200/FS200 Pro システムは、革新性と拡張性に優れたデジタル印刷エンジン向け統合デジタルフロントエンド (DFE) で、高い投資回収率を顧客に約束します。新機能では、生産性が大きく改善され、正確で美しいカラーを再現するだけでなく、操作性も大きく向上し、商用プリンターやデジタルプリンターのコスト削減やサービス向上に役立つ統合が強化されています。

Fiery FS200 は、Fiery 組み込みサーバー、Fiery FS200 Pro は Fiery の外部サーバーで利用できます。

新機能

生産性	色/画像の品質	操作性	統合
HyperRIP の強化 : <ul style="list-style-type: none"> 複数のジョブに対する HyperRIP モード 割り込み RIP シングルジョブモードでの PDF/VT サポート コンポジットオーバープリントの自動検出 オフライン仕上げサポートの向上 用紙混合時の印刷範囲のサポート Fiery JobFlow Base 印刷済みキューの最大ジョブ数の増加	階調スムージングの向上 PANTONE® PLUS ライブラリの更新 Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition、および Fiery Productivity Package の向上 <ul style="list-style-type: none"> ImageViewer の向上 コントロールバービルダー APPE Postflight レポート 	Fiery Command WorkStation® 5.7 <ul style="list-style-type: none"> フィルタ表示フィルタ表示タブ 日付範囲の指定 ジョブ番号 Fiery Impose 4.7 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー定義の仕上がりサイズのワークフロー自動化 ギャングアップのとし辺の選択 Fiery JobMaster™ 4.7 <ul style="list-style-type: none"> グレースケールに変換 自動タブ 高度なページナンバリング Fiery Compose 4.7 <ul style="list-style-type: none"> グレースケールに変換 「用紙に合わせて縮小」の向上 言語サポートの拡大	Fiery ジョブ記述形式 (JDF) の機能拡張 Fiery API Windows® 8.1 OS (外部の Fiery サーバー) Debian 7 OS (Fiery 組み込みサーバー)

* Fiery QX¹⁰⁰ 外部サーバーでのみ利用できます。

注意：機能はプリントエンジンのモデルによって異なるため、利用できる機能を確認するには、各製品のデータシート、または機能表を参照してください。

生産性

HyperRIP の強化

Fiery サーバーは、市場最速の RIP として広く認知されています。Fiery FS200 Pro に搭載された Fiery HyperRIP により、Fiery QX¹⁰⁰ サーバーの速度がさらに向上します。

新しい HyperRIP テクノロジーにより、プリントエンジンが瞬時に印刷を開始します。Fiery DFE がエンジンに連続してデータを送信するので、エンジンの利用率と収益性を最大限に高めることができます。

FS200 Pro の改善点 :

- 複数のジョブに対する HyperRIP モード
- 割り込み RIP
- シングルジョブモードでの PDF/VT サポート

複数のジョブに対する HyperRIP モード

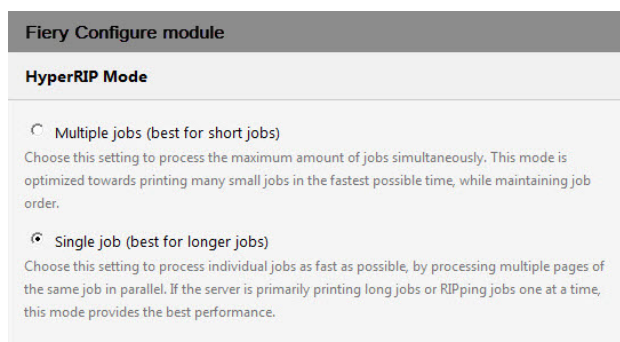
Fiery QX¹⁰⁰ 外部サーバーに搭載されている Fiery HyperRIP は、Fiery FS200 Pro システムソフトウェアをベースにしており、スムーズなプロダクションを実現し、新しいモードの並列ジョブ処理を提供することにより、これまでより幅広い印刷環境に対応します。お客様の環境に最も合ったモードを選択することで、Fiery に HyperRIP を使用しない場合と比較して 55% も速いスピードでジョブを処理できます。使用できるモードは次の 2 つです。

1. 単一ジョブ

これは Fiery FS100 Pro ソフトウェアで導入された、従来の HyperRIP の機能です。Fiery サーバーが 1 つのジョブを最大で 4 つの論理パーツに分割し、同一ジョブで各ページを並列処理します。

サーバーで時間を要するジョブを印刷することが多い場合は、このモードによって最高のパフォーマンスが実現できます。

単一ジョブモードは、長時間かかる複数ページのジョブの印刷に適しています。これは、Fiery サーバーが後続のジョブを処理できるように、HyperRIP がこれらのジョブを高速に処理するためです。



HyperRIP モードは、RIP の設定の Fiery Configure のモジュールの選択項目にあるサーバー設定です。単一ジョブモードは、デフォルトで選択されています。

単一ジョブモードで HyperRIP によってサポートされるファイル形式

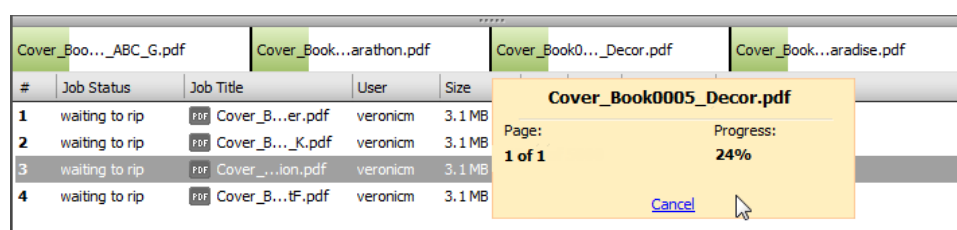
単一ジョブモードがサポートするファイル形式と、一部のワークフローと印刷設定における制限を次の表にまとめています。Fiery サーバーがファイルを HyperRIP で処理できないと判断すると、単一 RIP パスによってルーティングします。

PDF の種類	普通	両面	XObjects / フォームのキャッシュ	用紙種類の混合設定	コントロールバー	ポストフライン	「印刷範囲」	面付け	レコードの長さの定義	直接キュー
CPSI ワークフロー										
PDF	可	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	可
PS	可	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	不可
Quick Doc Merge	可	可	可	不可	可	不可	不可	不可	不可	不可
PDF/VT	可	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	不可
PPML	可	可	可	不可	可	不可	不可	不可	不可	不可
VPS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
VIPP	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
FreeForm	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
TIF	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
EPS	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
APPE ワークフロー										
PDF	可	可	可	可	不可	不可	可	不可	不可	可
PDF/VT	可	可	可	可	不可	不可	不可	不可	不可	不可
PCL ワークフロー										
PCL	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可	不可

2. 複数ジョブ

この新しいモードによって、サーバーが最大 4 つのジョブを同時に RIP 処理でき、複数のジョブを同時に高速印刷することができます。

複数ジョブモードは、本の表紙やチラシなどの短いジョブを多数処理する場合や、長いジョブを処理しながら、短いジョブの印刷を開始する必要がある場合に適しています。



Fiery Command WorkStation は、複数ジョブの処理状況を進捗インジケータととも並列で表示します。必要があれば、RIP 処理を個別にキャンセルすることもできます。

このモードで処理されたジョブは、RIP 処理の修了順に印刷されます。つまり、小さいジョブや短いジョブが、長いジョブや大きなジョブよりも前に印刷されます。印刷ジョブの順序の維持が重要な場合、このモードは、印刷キューに送信されたのと同じ順序でジョブを出力する送信順印刷機能と互換性があります。送信順印刷は、Fiery Configure のモジュールで使用可能にするサーバー設定です。

このモードは、一部のファイル形式をサポートしておらず、単一 RIP パスを使用して処理されます。次の形式が該当します。PPML、VDP、VIPP、PCL、および Freeform。

割り込み RIP

Rush RIP は、Fiery HyperRIP の複数ジョブモードと組み合わせて動作する Fiery 固有の機能です。このため、Fiery FS200 Pro システムソフトウェアベースの Fiery QX¹⁰⁰ サーバーでのみ利用できます。

Rush RIP は現在 RIP 処理を行っているほかのジョブを中断せずに、単一ジョブを即座に RIP 処理する機能を提供します。これは、4 つの Fiery RIP がすべてジョブの処理中の場合に発生します。Fiery サーバーは、ほかのジョブの処理と同時に、割り込みジョブの処理要求に基づいて、即座に 5 番目の RIP を利用可能にします。ジョブがもう 1 つ割り込み RIP ジョブとして RIP に送信され、5 つの RIP がすべて処理中の場合、そのジョブはほかの 5 つの RIP のいずれかが利用できるようになったら、すぐに処理されます。

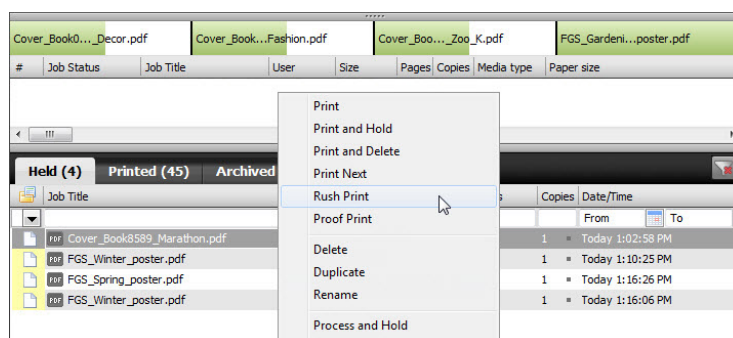
#	Job Status	Job Title	User	Size	Pages	Copies	Media type	Paper size
1	waiting to rip	FGS_Gar...er.pdf	veronicm	2.5 MB	1	1	Plain	11x17 SEF

Fiery サーバーは、ほかのジョブの処理と同時に、割り込みジョブの処理要求に基づいて、即座に 5 番目の RIP を利用可能にします。

オペレーターが待機ジョブを右クリックして次のアクションを選択すると、Rush RIP がアクティベートされます。

● 割り込み印刷

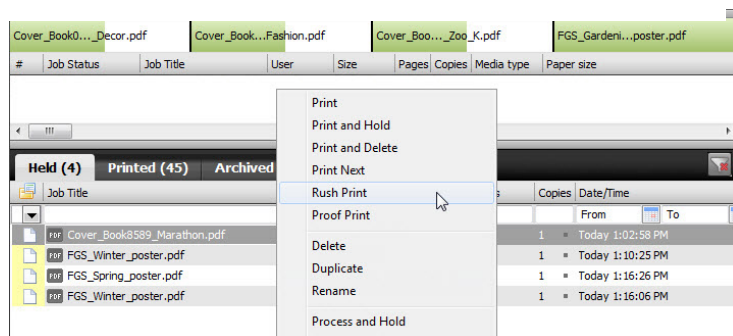
「割り込み印刷」を選択すると、割り込まれるジョブは「RIP 待機中」キューの一番上へ送信されます。割り込み印刷ジョブの RIP 処理が終了すると、現在印刷中のジョブを中断して印刷を開始します。



Rush RIP は、待機ジョブの右クリックメニューから割り込み印刷アクションを選択したときにアクティベートされます。

● 割り込み処理後待機

「割り込み処理後待機」を選択すると、ジョブは処理済みのジョブとして「待機」キューに戻ります。



Rush RIP は、待機ジョブの右クリックメニューから割り込み印刷アクションを選択したときにアクティベートされます。

Rush RIP は、オペレーターが次のように印刷キューをより詳細に管理できるため、高度な印刷環境に適した印刷管理ツールです。

- 現在処理中のジョブをキャンセルしたり、処理の完了を待たせずに、急ぎのジョブの処理を開始できる
- ほかのジョブの処理中にジョブをすぐにプレビューできる

PDF/VT のサポート

HyperRIP の単一ジョブモードで、CPSI と APPE の両方の処理パスの PDF/VT ファイル形式をサポートするようになり、バリアブルデータ印刷ファイルで Fiery QX¹⁰⁰ サーバーが提供する圧倒的な処理速度を利用できるようになります。

HyperRIP は、PDF/VT ジョブを、HyperRIP なしの Fiery サーバーより 55%も高速に処理できます。

コンポジットオーバープリントの自動検出

すべてのジョブが適切なオーバープリントと透明の効果을適用して印刷されるようにする優れた方法として、印刷するすべてのジョブに対して「ジョブのプロパティ」で「コンポジットオーバープリント」を使用します。これを選択すると、すべてのページのオーバープリントが処理され、すべてのジョブが適切に印刷されます。

この処理モードは、この特別な処理を必要としないジョブの

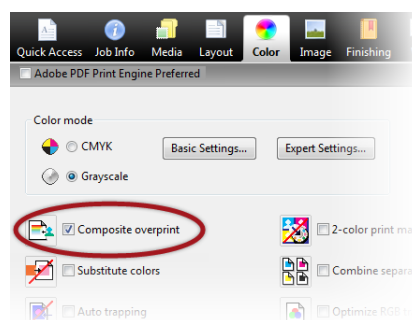
RIP 処理のパフォーマンスを低下させる可能性があります。コンポジットオーバープリントの自動検出という Fiery 固有の機能がこの問題を解決し、Fiery サーバーの高いパフォーマンスを維持します。

コンポジットオーバープリントの自動検出は、ジョブがコンポジットオーバープリントを必要としているかどうかを自動的に検出し、特別な処理によってオーバープリントを含むジョブのみを処理します。この新しい機能により、ユーザーはコンポジットオーバープリントが有効になっているかどうかを気にする必要がありません。コンポジットオーバープリントが使用されている場合でも、オーバープリントの要素を含まないジョブのスループットを高速化するため、そのままでも常に DFE のパフォーマンスを低下させることはありません。

写真集の業界で一般的に使用される RGB のみの PDF や、オーバープリントを含まない CMYK 書類は、処理のパフォーマンスが最大で 15%向上します。このパフォーマンスの向上は、コンポジットオーバープリントがデフォルト設定として使用されているため、Fiery 外部サーバーで保証されます。Fiery 組み込みサーバーでは、コンポジットオーバープリントの設定を利用でき、デフォルトで無効になっています。

オフライン仕上げサポートの向上

Fiery FS200 と FS200 Pro サーバーは、「ジョブのプロパティ」にジョブごとにインライン仕上げのオプションを定義する 3 つの設定を追加することで、印刷環境により高い柔軟性を提供します。

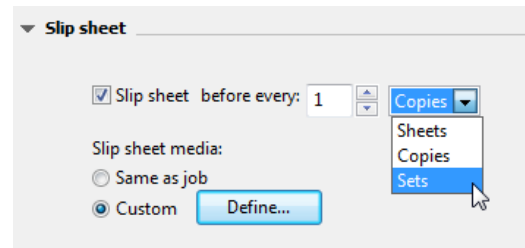


「ジョブのプロパティ」の「コンポジットオーバープリント」設定

スリップシート

スリップシート設定により、ユーザーがブランクまたは印刷済みのシートを、セット間、またはセット内にセパレーターシートとして挿入できます。スリップシートは、オペレーターがジョブの区切りを確認しやすくするため、種類の異なる用紙がセットされたトレイ

に使用されます。また、OHP フィルム（クリア素材）を含むさまざまな用紙の中差しにも対応します。



「ジョブのプロパティ」の「仕上げ」タブの「スリップシート」設定

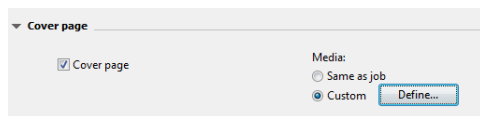
オペレーターは、次のスリップシートの境界から選択できます。

- シート - N 番目のシートの前にシートを挿入します。
- コピー - N 番目のコピーの前にシートを挿入します。
- セット - ジョブの N 番目のバリアブルデータ印刷（VDP）レコード、サブセット、章、丁合なしのコピーの前にシートを挿入します（1 ページ目の 10 番目のコピーなど）。

ジョブカバーページ

ジョブのカバーページは、ジョブの最後のシートの後に、ジョブ情報を含むカバーページを印刷します。これにより、ユーザーはジョブの区切りを識別しやすくなり、ジョブの詳細も追加で確認できます。

また、この機能は、管理者がカバーページを付けてすべてのジョブを印刷する必要がある場合に、Fiery の設定で使用できます。



「ジョブのプロパティ」の「仕上げ」タブの「カバーページ」設定

Cover Page	
User:	Admin
Document:	4748 pages.pdf
Server:	SERVER-HF1K7UF
Time:	06/08/2015 12:14:47
Pages requested:	42
Sheet Size:	12x18 SEF
Number of Records:	7
Number of Pages per Record:	6
Number of Copies:	1
Number of Printed Sheets:	42
Status:	OK
Notes 1:	
Notes 2:	
Instructions:	

最終出力を認識しやすくするのに役立つジョブ情報を含むカバーページ。

定義済みのカバーページのジョブ情報は、管理者が変更することはできません。

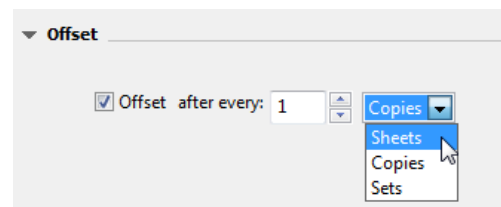
枚数、部数、セット数ごとのオフセット

オフセット機能は、印刷中にジョブの出力配置を切り替えるので、印刷後にジョブを複数のグループ（まとめ）に簡単に分けることができます

出力は、コピー、シート、またはセットのオフセット

が可能です。

- シート - N 番目のシートの後にオフセットします。
- コピー - N 番目のコピーの後にオフセットします。
- セット - ジョブの N 番目の VDP レコード、サブセット、章、丁合なしのコピーの後にシートを挿入します（1 ページ目の 10 番目のコピーなど）。



「ジョブのプロパティ」の「仕上げ」タブの「オフセット」設定

また、管理者がすべてのジョブをオフセットする必要がある場合は、Fiery Configure でこの機能を使用できます。

この機能は、インライン仕上げでオフセットのオプションを持つプリントエンジンでのみ利用できます。

用紙混合時の印刷範囲のサポート

用紙種類の混合設定の印刷範囲のサポートにより、用紙種類の混合設定が以前定義されている場合に、指定されたページ範囲を印刷できます。印刷範囲と用紙種類の混合設定機能は、併用できるため便利です。

Fiery JobFlow Base

Fiery JobFlow は、設定も操作も簡単な自動化されたプリプレスプロセスで、再作業の必要性を抑え、印刷工場全体の効率性を大幅に向上します。

Fiery JobFlow のインストーラーは、Fiery FS200 Pro ソフトウェアが実行する Windows ベースの Fiery サーバーへのインストールをサポートしています。また、Fiery JobFlow は、サポートされる Windows または Mac クライアントにインストールできます。

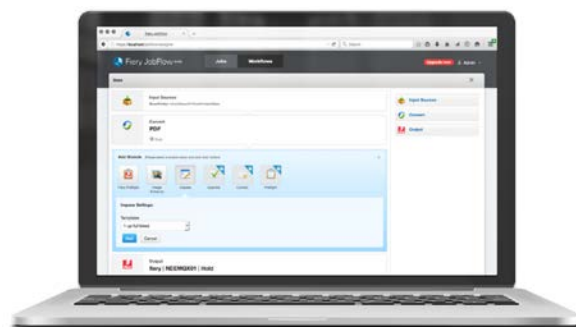
Fiery JobFlow アプリケーションのインストール後、無料バージョンの Fiery JobFlow Base を使用して、自動ワークフロー（以下の要素で構成される）を構成できます。

- 複数の場所からのジョブ送信（Dropbox、共有フォルダ、および FTP）
- PDF 変換
- Fiery Preflight（Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition が必要）
- 画像エンハンスメント
- 書類の面付け（Fiery Impose が必要）
- ジョブチケット
- 複数の場所へのアーカイブと出力（Dropbox、共有フォルダ、FTP、および Fiery 外部サーバー）

Fiery JobFlow の機能をフルバージョンで使用する（ロックを解除する）には、有料のアップグレードライセンスが必要です。Fiery JobFlow 2.0 のフルバージョンには、次の追加の機能が含まれます。

- ルールベースのワークフロー
- 高度なプリフライト（Enfocus Pitstop を搭載）
- PDF 補正（Enfocus Pitstop を搭載）
- クラウドベースの承認ワークフロー

Fiery JobFlow の詳細情報は、Web ページ (efi.com/fieryjobflow) を参照してください。



Fiery JobFlow は、Mac または Windows クライアントの Web ブラウザーからアクセスできます。

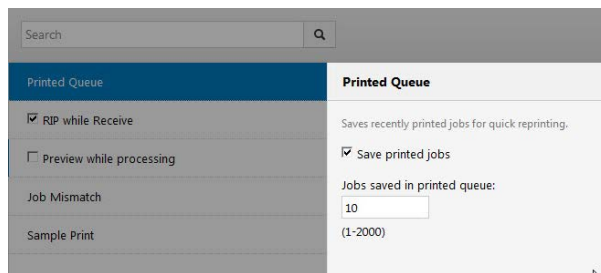
印刷済みキューの最大ジョブ数の増加

印刷済みキューに保存されるジョブの最大数が拡張し、簡単かつスピーディに再印刷するジョブにアクセスできます。ジョブの最大数は、組み込みサーバーと外部サーバーで異なります。

- FS200 ソフトウェアが動作する Fiery 組み込みサーバーでは、ジョブが 99 から 1000 に増えました。
- FS200 ソフトウェアが動作する Fiery 外部サーバーでは、ジョブが 99 から 2000 に増えました。

保存されるジョブのデフォルトの数は 10 で、Fiery Configure と Fiery Webtools を使用して管理者が変更できます。

保存済みジョブの数が定義された上限に達すると、Fiery サーバーは FIFO の順（送信した順）でジョブの削除を開始します。



保存されるジョブのデフォルトの数は 10 で、管理者が変更できます。

カラー

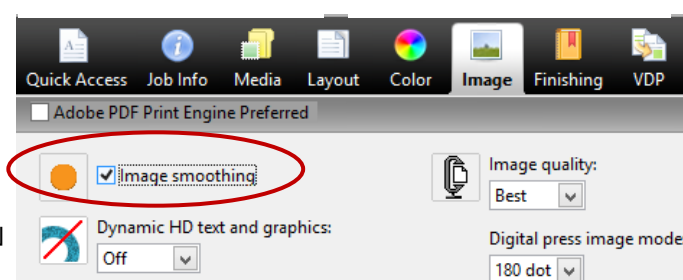
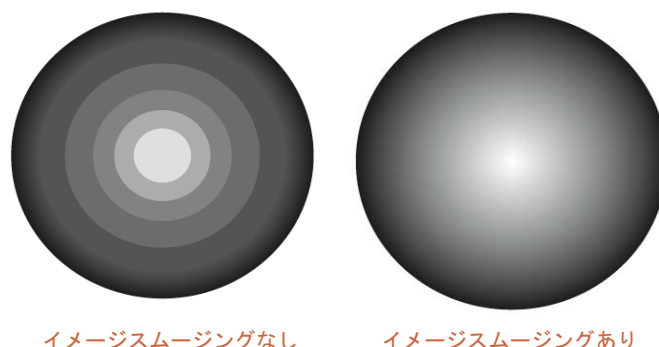
階調スムージングの強化

イメージスムージング機能は、階調スムージングが強化された Fiery 独自の処理を使用します。印刷出力の見づらい段差をなくすことにより、ヴィネットやベクトル勾配などのデザイン要素で見られるカラー遷移が可能なので、最高品質の外観を実現します。

ヴィネットやベクトル勾配は、通常は同じ色相の暗い色から明るい色に遷移する、一般的なデザイン要素です。

これらの要素のカラー遷移は、画面ではなめらかに見えても、印刷すると帯状に見える場合があります。

階調スムージングは、Fiery ドライバーと「ジョブのプロパティ」で「イメージスムージング」設定が使用されている場合に適用されます。



「ジョブのプロパティ」と Fiery ドライバーの「イメージスムージング」設定

PANTONE PLUS ライブラリの更新

Fiery サーバーは、最新の PANTONE® ライブラリをサポートし、高品質のカラーを要求するお客様の期待に応えます。PANTONE PLUS SERIES を追加したことで、ユーザーは新しいカラー目トリック定義を含む PANTONE カラーをより正確に再現できます。

ライブラリは Fiery Command WorkStation の「デバイスセンター」>「リソース」>「スポットカラー」にあります。

PANTONE の全ライブラリは、<http://download.efi.com/FieryPantone> からダウンロードできます。



Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition、および Fiery Productivity Package の強化

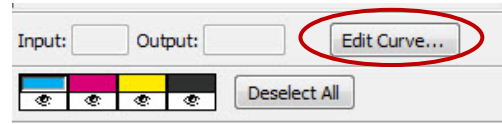
Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition for Fiery FS200 Pro システム、および Fiery Productivity Package for the Fiery FS200 システムでは、ImageViewer、Postflight、および新しいコントロールバービルダーが強化されています。

Fiery ImageViewer の強化

Fiery ImageViewer の新機能では、カラー曲線の作成と適用を正確にコントロールでき、全体的な操作性が向上しています。

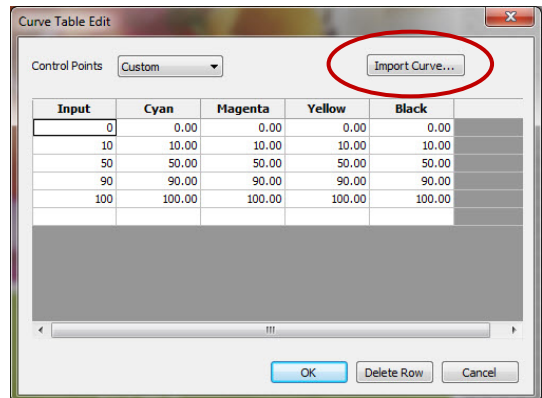
- 表形式のカーブ編集

この機能は、「カラー調整」ウィンドウの「曲線編集」ボタンからアクセスできます。表形式の曲線編集では、カスタム値を使用して曲線を定義するか、10%やP2Pターゲットなどの事前設定済みのコントロールポイントを選択します。



ImageViewer の新しい「曲線編集」ボタン

「曲線をインポート」機能は、表形式の曲線編集機能内にあります。これは、IDEAlliance Curve2™や、より新しいソフトウェアなどのアプリケーションからサードパーティ曲線をインポートできる機能です。

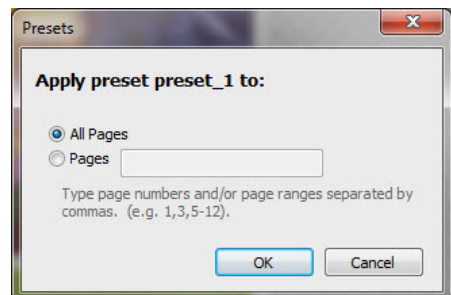


この強化により、カラー曲線をより正確に編集でき、カラー編集のコントロールが向上します。また、Curve ソフトウェアを使用した G7 認証環境で G7 トーンやグレーバランスへのマッチングが簡単になります。

表形式の曲線編集により、曲線をさらに正確に編集

- ページごとにカスタム曲線を適用

ImageViewer により、ユーザーはカスタム曲線をプリセットとして保存して、単一ページ、特定の範囲のページ、またはジョブ全体に適用できます。



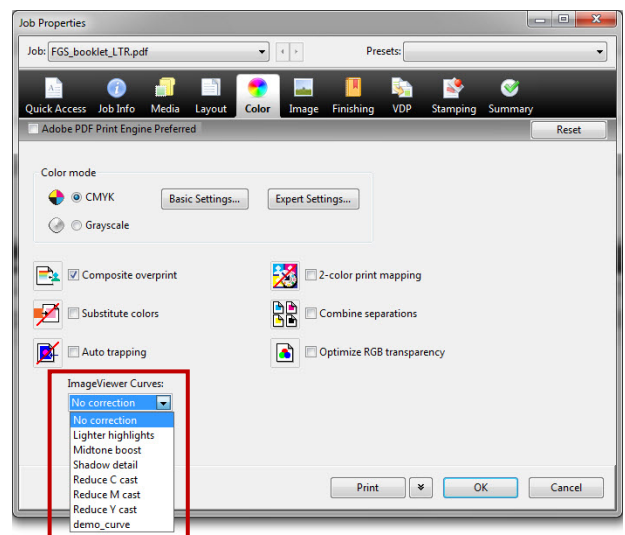
これにより、各ページ、またはジョブ全体の色調整が可能になり、ジョブ全体でのカスタム設定の

カスタム曲線のプリセットを選択して、ジョブ内の必要なページに適用します

コントロールが向上します。

- 「ジョブのプロパティ」と Fiery ドライバーで「ImageViewer 曲線」を適用する

ユーザーは Fiery Command WorkStation の「ジョブのプロパティ」または Fiery ドライバーで、ジョブにカスタム曲線を適用するよう選択できます。ユーザーが ImageViewer にカスタム曲線をすでに保存済みの場合は「ImageViewer 曲線」ドロップダウンリストに自動的に設定されます。



事前定義された曲線の調整のセットも利用でき、Fiery Graphic Arts Package、Premium Edition、または Fiery Productivity Package のライセンスが存在する必要はありません。

事前設定された曲線調整またはカスタム曲線を選択します

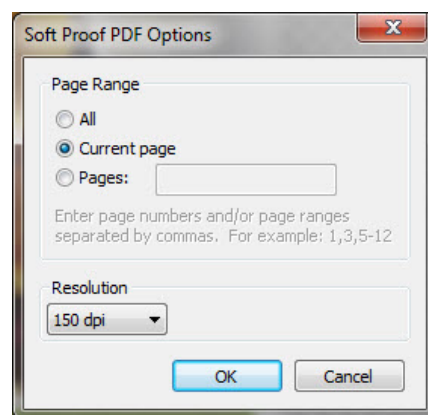
- 低ハイライト
- ミッドトーン強調
- シャドウ詳細
- C キャスト低減
- M キャスト低減
- Y キャスト低減

この新しい機能により、類似するジョブ間でのカラーマッチングが容易になり、ImageViewer を開かずにカスタム曲線や出荷時デフォルト曲線の補正を適用できます。

- ソフトプルーフの簡易化

ImageViewer でソフト校正を作成するオプションが簡単になりました。解像度（150dpi または 300dpi）、およびソフト校正としてエクスポートされるジョブ内の特定のページを指定します。

これにより、より効率的にソフト校正を作成できます。



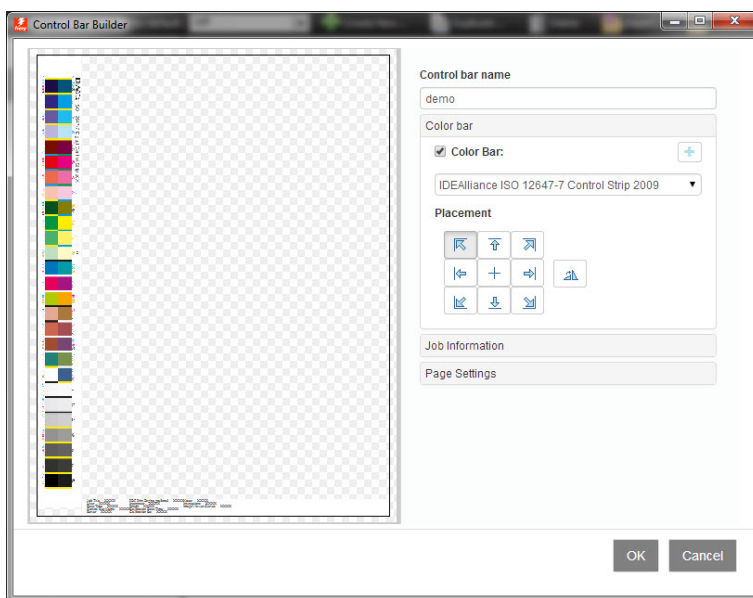
オプションが簡略化され、ソフト校正をより効率的に作成できます

コントロールバービルダー

コントロールバーは通常、カラープロセスコントロールを有効にするため、プレスフォームやコントラストプルーフ（外校）で使用されます。

Fiery コントロールバーにはカラーバーとジョブ情報があり、印刷された各ページのカラー品質を監視します。

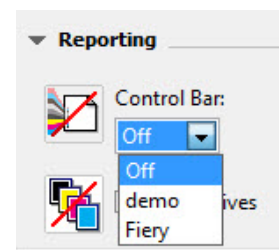
Fiery コントロールバーは、「ジョブのプロパティ」または Fiery ドライバーから選択し、ジョブのすべてのシートに印刷されます。



コントロールバービルダーのユーザーインターフェイス

新しいコントロールバービルダーは、カスタムのコントロールバーをデザインする WYSIWYG インターフェイスを備えています。これにより、アプリケーションや想定する対象者ごとに、異なるカラーバーやジョブ情報を表示できます。各カスタムコントロールバーは、すべての用紙サイズで使用できるため、設定時間を短縮し、オペレーターはカスタムコントロールバーを簡単に使うことができます。

ユーザーは、カスタムのカラーコントロールバーをアップロードしたり、あるいはコントロールバービルダーに含まれるバーと同じように、事前定義済みのカラーバーからコントロールバーをカスタマイズすることができます。Ugra Fogra-Media Wedge V2.2x、Ugra Fogra-Media Wedge V3.0a、IDEAlliance ISO 12647-7 Control Strip 2009、および the IDEAlliance ISO 12647-7 Control Wedge 2013。



「ジョブのプロパティ」と Fiery ドライバーの「コントロールバー」の選択項目

ユーザーはバーのフォント、テキストサイズ、カラーや、含まれる情報の順序をカスタマイズできます。コントロールバーは、縦向きか横向きのいずれかでシートに配置するか、表示する位置を変えることもできます。Fiery ドライバーと「ジョブのプロパティ」で、デフォルトのコントロールバー、またはコントロールバービルダーで作成されたカスタムコントロールバーを選択できます。

コントロールバービルダーでは、コントロールバーの配置や用紙サイズに応じたコンテンツを柔軟にコントロールできます。ユーザーは、特定のジョブまたはプロダクションワークフロー全体で一貫したカラーと品質を確保するため、カスタムコントロールバーをデザインすることもできます。

APPE Postflight レポート

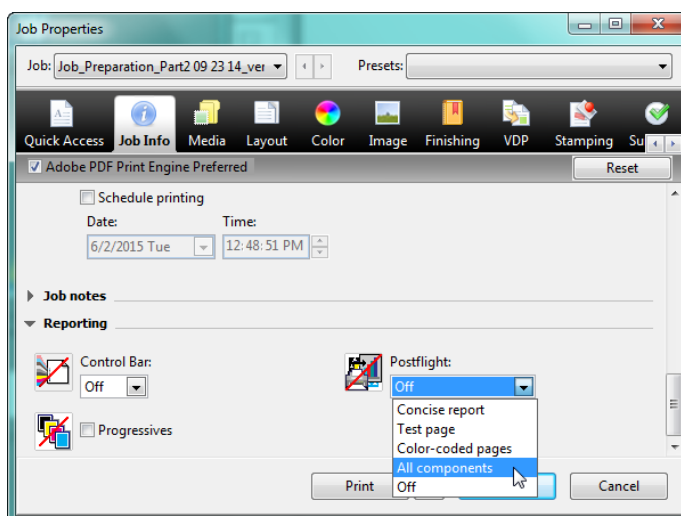
Postflight レポートでは、カラーコードバージョンのジョブを生成し、カラー印刷のトラブルシューティング用に各要素のソース色空間を識別させることができます。

Fiery FS200 Pro 以前のバージョンでは、Postflight レポートでは常に、CPSI 処理パスを経由して PostScript と PDF ファイルの処理を行っていました。このワークフローでは、Postflight のカラーコード化されたページを CPSI 処理パスに適用していました。しかし、APPE インタプリタを使用して PDF を処理する場合、ファイルに CPSI 向けに別途変換されたカラー情報が含まれることがあります。このため、CPSI では PDF を PostScript に変換しない、ネイティブの PDF 印刷パスをサポートする Postflight 機能が必要です。

APPE Postflight は、APPE に送信して処理するソース色空間を PDF 形式で報告します。また、APPE Postflight では、Fiery Spot-On™の既知のスポットカラーと足りないスポットを別々に色分けすることにより、足りないスポットカラーのレポート精度を向上しています。

この機能は、FS200 Pro が動作する Fiery 外部サーバーでのみ動作し、以下が必要です。

- Fiery Configure で使用する APPE
- 「PDF ジョブに Adobe PDF Print Engine をデフォルトで使用」を確認してください。
- または、「ジョブのプロパティ」で「Adobe PDF Print Engine 使用」を選択します。



「ジョブのプロパティ」と Fiery ドライバーの「ジョブ情報」タブから Postflight を選択します

操作性

Fiery Command WorkStation v5.7

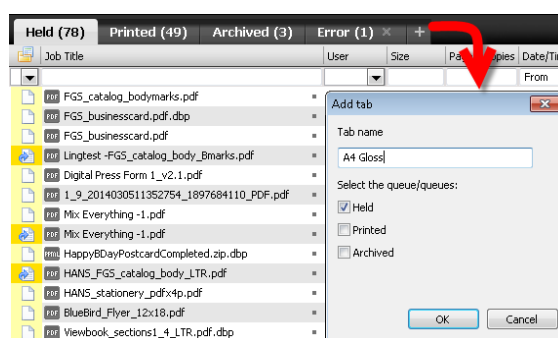
Fiery Command WorkStation v5.7 は Fiery Extended Applications v4.3 の一部であり、2015 年 4 月に www.efd.com/cws5 から無料でダウンロードできます。搭載されている新機能：

- フィルタ表示フィルタ表示タブ
- フィルタ表示の日付範囲指定
- ジョブ番号

フィルタ表示フィルタ表示タブ

生産性を向上させる新機能のフィルタ表示フィルタ表示タブが、プロダクションのスループットを向上します。

オペレーターは、標準の「待機」、「印刷済み」、「アーカイブ済み」タブから、フィルタ表示フィルタ表示タブを追加のタブとして保存します。これで、性質が類似するジョブをまとめ、待機ジョブや印刷済みジョブを一つのタブに表示することができるので、オペレーターがプロダクションの計画を立て、優先順位を決めることが可能になります。



印刷生産を計画して優先順位を決定するフィルタ表示フィルタ表示タブが追加されました

フィルタ表示フィルタ表示タブを使用して、オペレーターは、新しいジョブが Fiery サーバーに届くと自動的に更新される別のタブによく使う検索条件を保存します。

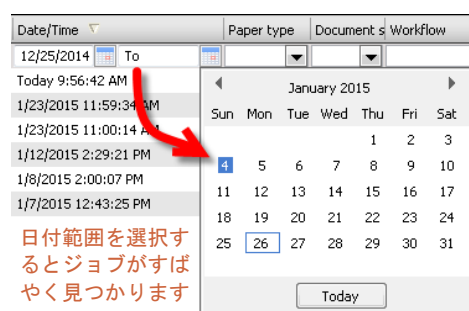
ユーザーは標準の「待機」、「印刷済み」、「アーカイブ済み」タブに加えて、最大で 10 個のタブを作成できます。

この機能は、次のような場面で役立ちます。

- 「印刷済み」タブで印刷が完了したジョブとエラーのジョブを同時に表示させるのではなく、「エラー」タブを作成してジョブステータスがエラーのジョブのみを表示します。
- 印刷の準備ができており、オペレーターがロードした用紙に一致するジョブのみを絞り込むため「ハンマーミル、105gsm、コート」というタブを作成します。
- オペレーターは「待機」タブと「印刷済み」タブの両方でこのユーザー名のジョブのみを表示する「Mike」というタブを作成します。

フィルタ表示での日付範囲の定義

フィルタ表示により、ユーザーは「日時」フィールドで日付範囲を選択できるため、印刷ジョブをよりすばやく見つけて新しいフィルタ表示フィルタ表示タブを定義できます。



ジョブ番号

ジョブ番号機能は、Fiery サーバーのジョブに番号を個別に割り当て、ジョブをすばやく識別できるようにします。ジョブ番号は、「待機」、「印刷済み」または「アーカイブ済み」キューの列、またはジョブログに表示できます。

割り当てられる番号は、固有の Job-ID 値を略した結果です。

この機能により、同じ名前を持つジョブが区別しやすくなります。

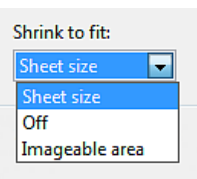
ジョブ番号は、番号を個別に割り当て、同じジョブタイトルを持つジョブを区別しやすくします

Held (0)		Printed (97)		Archived (0)		+
Job Title	Job Number	Size				
Font Tests	1409	2.1 MB				
Font Tests	1408	2.1 MB				
Font Tests	1406	2.0 MB				
Photo Print Test Job	1404	4.1 MB				
Photo Print Test Job	1403	4.0 MB				
Photo Print Test Job	1402	4.0 MB				

「用紙に合わせて縮小」の向上

Fiery ドライバーと「ジョブのプロパティ」の「レイアウト」タブの「用紙に合わせて縮小」設定を使用して、ページの全体の画像が印刷されるシートに合うか確認できます。これまでは、ギャングアップや製本のレイアウトでこの設定を選択すると、画像がシートのサイズに縮小されていました。ほとんどの印刷機はエッジツーエッジ印刷に対応していないため、通常、印刷可能領域より大きくなります。その結果、書類によっては画像データが非印刷可能領域に該当し、シートの端の画像が印刷されないという問題が発生します。

Fiery ドライバーと「ジョブのプロパティ」でのギャングアップスタイルと製本スタイルの「レイアウト」タブにある「画像に合わせて縮小」オプション



この強化により、ユーザーが Fiery ドライバーと「ジョブのプロパティ」から画像に合わせて縮小を指定するときに、選択項目を利用できます。

- ・ シートサイズ：画像を選択した用紙のシートサイズに合わせます。
- ・ 出力可能領域：画像をシートの印刷可能領域に合わせます。

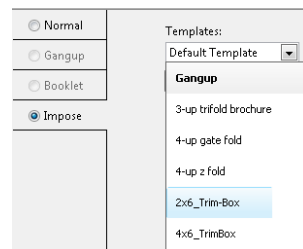
この柔軟性が追加されたことで、ユーザーは「画像に合わせて縮小」のパラメーターを適切に定義して、印刷出力での画像データの不足を回避できます。

Fiery Impose の改良点

ユーザー定義の仕上がりサイズのワークフローの自動化

Fiery Impose の「ユーザー定義の仕上がりサイズ」での面付けは、PDF ファイルのトリムボックスの仕上げるオプションを使用します。この強化により、Fiery FS200 Pro のユーザーは Fiery Impose のテンプレートを「ユーザー定義の仕上がりサイズ」設定で使用して、これらのテンプレートを、Fiery Hot Folders、仮想プリンター、ジョブのプロパティ、およびサーバープリセットなど、任意のジョブ送信の方法またはワークフローで利用できます。

「ユーザー定義の仕上がりサイズ」のワークフローを設定する場合は、クライアントまたは Fiery FS200 Pro (Windows ベース) サーバーで Fiery Impose ライセンスをアクティベートする必要があります。



Fiery の「ジョブのプロパティ」からのトリムボックスに基づいた面付けを選択します

次の表は、Fiery ライセンス（LAC）をアクティベートする必要があるケースを示しています。

Fiery システム のバージョン	ライセンスアクテ イベーション		サポートされるワークフロー			
	サーバ のライセ ンス	クライア ントのラ イセンス	ジョブのプ ロパティ	サーバ ープリ セット	仮想プリ ンター	Hot Folders
FS200 Pro	✓	✓	S (*1) (*3)	S (*3)	S (*2)	S (*3)
	✓		S (*1)	S	S	N/S
		✓	N/S	N/S	N/S	S (*3)
			N/S	N/S	N/S	N/S
FS200、FS150 Pro、およびそ れ以前の Fiery サーバー	✓	✓	N/S	N/S	N/S	S (*3)
	✓		N/S	N/S	N/S	N/S
		✓	N/S	N/S	N/S	S (*3)
			N/S	N/S	N/S	N/S
	✓= ライセンスが必要		S = サポート対象 - N/S= サポート対象外			

(*1) : Fiery サーバーで「ユーザー定義の仕上がりサイズ」テンプレートを作成すると、「ジョブのプロパティ」からアクセスできるように、サーバープリセットを作成する必要があります。

(*2) : 仮想プリンターワークフローは、Fiery サーバーで「ユーザー定義の仕上がりサイズ」テンプレートが作成されている場合にのみ利用できます。

(*3) : 「ユーザー定義の仕上がりサイズ」に基づいてジョブのプロパティ、サーバープリセット、および Hot Folders ワークフローがクライアントで設定されると、これらのワークフローはそのクライアントでのみアクセスできます。

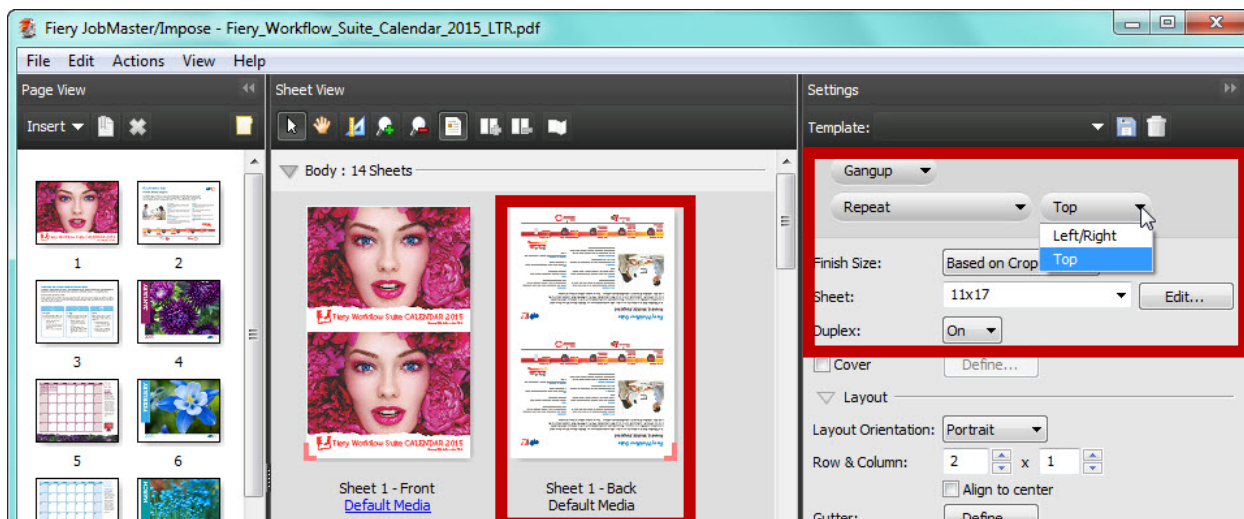
ギャングアップのとじ辺の選択

壁掛けカレンダーや一部の決算書など、上とじ仕上げにするアプリケーションは、仕上げスプレッドで正しいページの方向を表示するために、シートの最終ページを 180 度回転させる必要があります。

デザイナーは印刷するファイルを生成するときに、各シートの最終ページを手動で回転するしかなかったのですが、この新機能により、ギャングアップの面付けで、この回転をすべての最終頁ですべて自動的に回転させることができます。ジョブに両面ギャングアップ反復、唯一 - 丁合い、または Duplo スタイルを面付けするときに、新しい「天」とじ位置を選択します。



ギャングアップ反復の面付けスタイルと天のとじ位置を使用したカレンダー



ギャングアップの仕上がり辺は、ギャングアップ、反復、両面を有効にしているときに選択できます。シート1の裏のページが180度回転しているのがわかります。

これらの面付けの設定により、Hot Folders や仮想プリンターなど、プリセットベースのワークフローを使用しているときに、オペレーターの生産性とスループットが向上します。設定を Fiery Impose テンプレートとして保存して、オペレーターがそれ以降の定期的なジョブや VDP ジョブで上面とじの両面印刷が必要な場合に、ページの回転を自動化することができます。

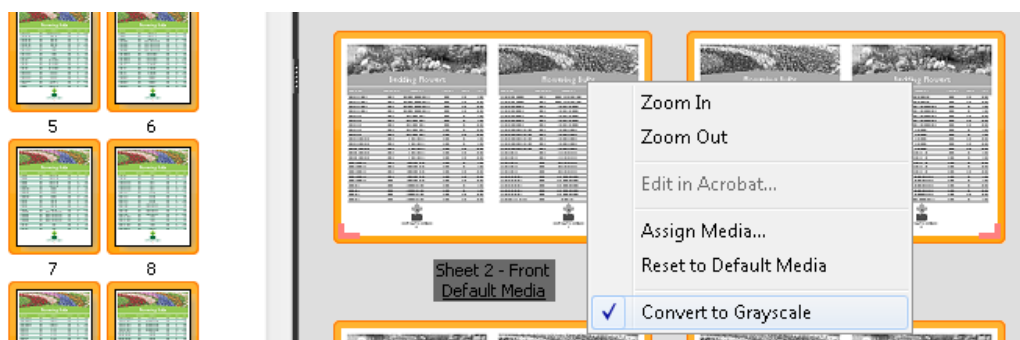
Fiery JobMaster の改良点

グレースケールに変換

この機能は、Fiery Compose と Fiery JobMaster のいずれでも利用できます。

オペレーターは、メイクレディ段階で白黒で印刷するページまたはシート表面を簡単に指定できます。

グレースケールに変換機能では、クリックチャージで保存が行われ、印刷物に対するデザイナーの意図を簡単に実現することができます。グレースケールに変換をシートレベルで適用して、製本やギャングアップなど、面付けされた書類のクリックを節約することができます。



グレースケールに変換は、「ページ表示」または「シート表示」パネルのいずれかで行われます。選択したページまたはシートの表面が変換されると、変更が「シート表示」パネルに反映されます。

変換は非破壊的です。つまり、ジョブが「待機」キューに保存されると、オペレーターはそれ以降の編集を適用し、必要に応じて変換を元に戻すことができます。

この機能は、次の例のような場面で役立ちます。

- テキストが多く、青いハイパーリンクがある長いマニュアル。オペレーターは、製本にレイアウトした後で、すべての本文のシートを「シート表示」でグレースケールに変換して、操作の手順（クリックする回数）を減らすことができます。
- お客様が名刺の裏面を白黒で印刷したい場合。オペレーターは「ページ表示」パネルで裏ページを選択して、グレースケールに変換します。

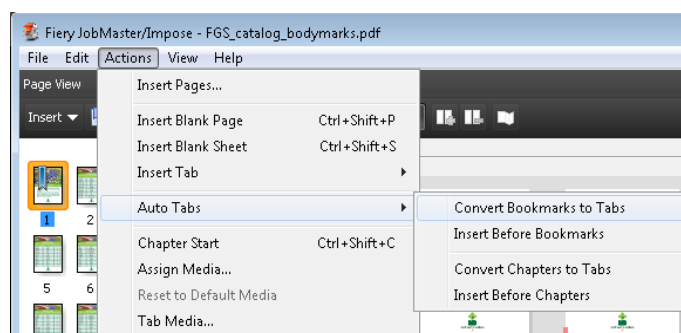
自動タブ

自動タブ機能は、タブシートを作成して適切な場所に配置し、PDF 書類のブックマークのリンクのテキストを使用して、タブの耳の内容を挿入します。

これはメイクレディを合理化し、タブジョブを手動でアセンブリしている間に発生する可能性があるエラーを減らします。

自動タブにより、ユーザーはタブジョブを準備する時間を 20～50 分から 5 分未満に短縮することができます。

自動タブは、トレーニングマニュアル、レポート、コースパックなど、章やセクションを適切に定義する必要がある書類で特に役立ちます。



自動タブは、PDF のブックマークのリンクのテキストを使用したり、章の最初のページにタブを自動的に配置したりします。

この機能は、次のようなシナリオで役に立ちます。

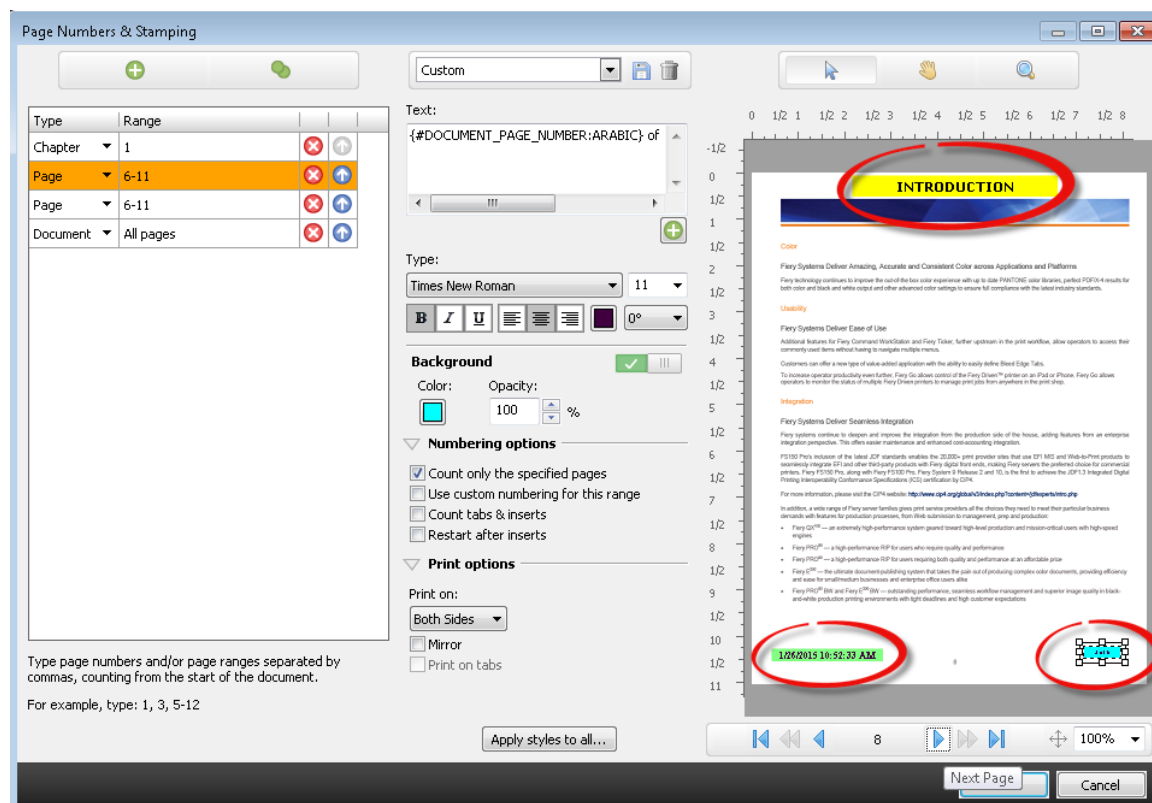
- プリントバイヤーがトレーニングマニュアルのセクションごとに PDF ファイルを 1 つ提供します。オペレーターが Adobe Acrobat を使用してこれらのファイルを 1 つの書類に結合します。これで、各セクションが 1 つの PDF ファイルにマージされ、各セクションの最初にブックマークが自動的に作成されます。ブックマークは PDF ファイルの名前を保持します。
- プリントバイヤーは、タブの指示とタブの耳の内容に関する別の書類を作成する代わりに、すべてのタブ情報を PDF の印刷ファイルに含めます。

高度なページナンバリング

メイクレディ、または長く複雑なジョブでは、様々なページ番号のシーケンスや形式を1つの書類内の複数のセクションに適用する必要があります。JobMasterの強化されたページナンバリングツールには、このような需要に応える高度な機能が含まれています。

高度なページナンバリングでは、オペレーターは1仕用のセクションに、カスタムのテキスト、書式、およびマクロを組み合わせて使用し、一意のナンバリングシーケンスを作成できます。

高度なページナンバリングは長い書類のナンバリングの様々な要求を満たす使いやすさと柔軟性を提供します。



複数ページのナンバリングのシーケンスを単一ページに適用できます。

この機能が役立つシナリオとして、次のものがあります。

- 技術的なマニュアルには、付録とメインセクションが含まれ、それぞれが別の書式になっていることがあります。付録はローマ数字 (i, ii, iii) を使用し、メインセクションはアラビア数字 (1, 2, 3) を使用することができます。高度なページナンバリングでは、すべてのページのナンバリングの書式を一度に定義できます。
- 挿入や章分けページはナンバリングされないため、ジョブによっては、ページのナンバリングを再開しなければならない場合があります。高度なページナンバリングは、章の開始を自動的に検出し、ナンバリングを省略して再開します。
- また、すべてのページで章名を上部に表示し、ページ番号を下部に表示する必要があるジョブもあります。高度なページナンバリングでは、両方のマクロを同じページに追加でき、章名を追加するためにネイティブファイルに戻る必要がありません。

言語サポートの拡大

Fiery FS200 と FS200 Pro システムソフトウェアが動作する Fiery サーバーが、新しく2つの言語にローカライズされます。韓国語および繁体字中国語すべての Fiery ユーザーアプリケーションとインターフェイスで、これらの新しい言語が、サポートされます。

統合

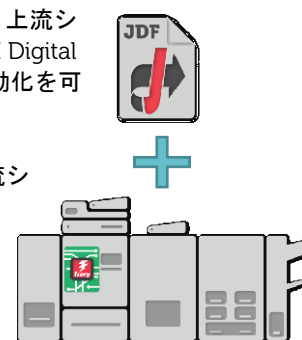
Fiery JDF v1.4

Fiery JDF では、印刷ワークフローと業務管理システムを統合することで、ジョブの送信から出力までのプロセスを自動化できます。JDF ベースの統合のサポートが組み込まれているため、操作項目を最小限にしてエラーを抑えながら、ジョブ情報がシステムに送信されます。



バージョン 1.4 では、システムが統合されて次の操作が可能になりました。

- 不使用のタブをデフォルトまたは指定したトレイに自動的に排出します。これにより、上流システムで JDF によって不使用タブ紙出力トレイを指定して、Web-to-Print、または EFI Digital StoreFront や Pace MIS などの Print MIS システムからの高度なタブワークフローの自動化を可能にします。
- 表紙と本文ページで異なる用紙が必要な中とじの製本を生成します。これにより、上流システムから製本属性をより詳細にコントロールして自動化できます。
 - おもて/裏表紙用の厚紙を指定します
 - 両面印刷、外側のみ、内側だけの印刷を指定します
 - 表紙と本文ページに対し、カラー、または白黒を個別に指定できます



また、一部の Fiery 製品で、[Fiery Productivity Package](#) を選択することで、Fiery JDF が Fiery 組み込みサーバーで利用できるようになりました。これにより、ユーザーは印刷のワークフローと業務管理システムをさらに統合できます。Productivity Package によって Fiery JDF をサポートする Fiery 組み込みサーバーのリストを確認するには、[Fiery JDF のサポートされるプリンターのページ](#)にアクセスしてください。

Fiery API

印刷のワークフローは、印刷業務ごとに異なります。Fiery の Application Programming Interface (API) では、お客様と印刷業者の社内開発者が、自分で選択した開発環境を使用し、Windows®、Mac OS、iOS、Android など、様々なデスクトップやモバイルプラットフォームのための独自のアプリケーションやツールを短期間で開発できます。RESTful な API によって Fiery インターフェイスが公開され、Fiery サーバーとの安全な双方向接続が確立されるため、開発者はコスト分析やスケジュールの最適化など、カスタムで利用するためにジョブのデータを抽出したり、お客様の既存のアプリケーションから基本的な設定を指定してジョブを送信することができます。

- 使用する枚数、用紙サイズ、用紙の種類などの Fiery サーバーのログデータを要求し、カスタムの請求書を作成したり、管理のニーズに対応することも可能です。
- Fiery サーバーの特定のジョブ、またはすべてのジョブの処理、印刷、削除など、特定のジョブのアクションを制御します。
- 簡単なコマンドを使用し、アプリケーションから Fiery サーバーにジョブを送信します。
- 簡単なコマンドを使用して、印刷やエラーなどのアクションの現在のステータスを取得し、リアルタイムのプリンターのレポートを入手できます。
- Fiery サーバーによって生成された処理済みのジョブのプレビューにアクセスし、ソフト校正を実行できます。



サンプルコード、API のマニュアルや、プロジェクトのように評価ライセンスを入手する方法などを記載した利用開始に必要なリソースは、developer.efi.comにあります。

スマートフォンとタブレットのための無料のアプリケーションの Fiery Go は、Fiery API を利用し、ユーザーが iOS や Android デバイスからリモートで Fiery サーバーにアクセスできます。Fiery FS200 と Fiery FS200 Pro サーバーは、Fiery API を利用しているため、モバイルデバイスとすぐに通信を開始できます。

Windows 8.1 オペレーティングシステム (Fiery 外部サーバー)

Fiery FS200 Pro システムソフトウェアが動作する Fiery 外部サーバーは、最新の業界標準のサポートを常にお客様に提供していますが、Windows Embedded 8.1 Pro 64 ビットオペレーティングシステムをベースにするようになりました。

Debian 7 オペレーティングシステム (Fiery 組み込みサーバー)

Fiery FS200 システムソフトウェアが動作する Fiery 組み込みサーバーは、最新のオペレーティングシステムを常にサポートし、Linux Debian 7 をベースにするようになりました。このアップデートされたバージョンの Linux オペレーティングシステムでは、64 ビットのオペレーティングシステムを提供し、セキュリティアップデートのサポートが改善されています。

EFIはお客さまのビジネスの発展を お手伝いします。

Fieryコントローラからスーパーワイドフォーマットインクジェットプリンター、ラベルプリンターから自動化された印刷工程ソリューションまで。EFIはお客さまが必要とするソリューションをすべて備えています。

詳細は：<http://www.efi.co.jp> まで。



The APPS logo, AutoCal, Auto-Count, Balance, Best, the Best logo, BESTColor, BioVu, BioWare, ColorPASS, Colorproof, ColorWise, Command WorkStation, CopyNet, Cretachrom, Cretaprint, the Cretaprint logo, Cretaprinter, Cretaroller, DockNet, Digital StoreFront, DocBuilder, DocBuilder Pro, DocStream, DSFdesign Studio, Dynamic Wedge, EDOX, EFI, the EFI logo, Electronics For Imaging, Entrac, EPCount, EPPhoto, EPRegister, EPStatus, Estimate, ExpressPay, Fabrivid, Fast-4, Fiery, the Fiery logo, Fiery Driven, the Fiery Driven logo, Fiery JobFlow, Fiery JobMaster, Fiery Link, Fiery Prints, the Fiery Prints logo, Fiery Spark, FreeForm, Hagen, Inkintensity, Inkware, Jetrion, the Jetrion logo, LapNet, Logic, MiniNet, Monarch, MicroPress, OneFlow, Pace, PhotoXposure, Printcafe, PressVu, PrinterSite, PrintFlow, PrintMe, the PrintMe logo, PrintSmith, PrintSmith Site, Printstream, Print to Win, Prograph, PSI, PSI Flexo, Radius, Rastek, the Rastek logo, Remoteproof, RIPChips, RIP-While-Print, Screenproof, SendMe, Sincolor, Splash, Spot-On, TrackNet, UltraPress, UltraTex, UltraVu, UV Series 50, VisualCal, VUTEk, the VUTEk logo, and WebTools are trademarks of Electronics For Imaging, Inc. and/or its wholly owned subsidiaries in the U.S. and/or certain other countries.